

2025/3/22

文部科学省 日本語教師養成・研修推進拠点整備事業
近畿ブロック 2024年度シンポジウム

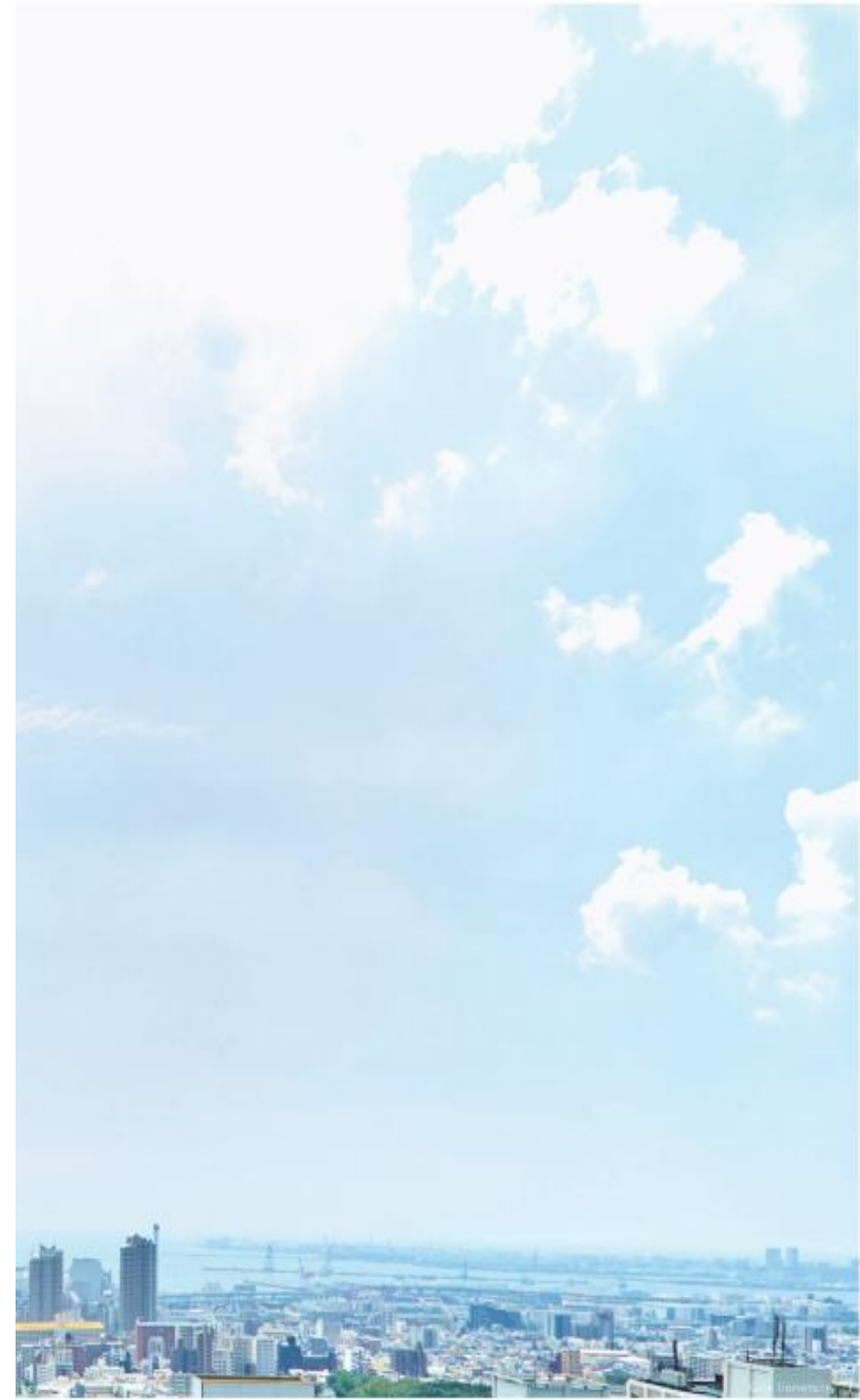
近畿拠点 KJLPTの活動 2024年度

石川 慎一郎

iskwshin@gmail.com



KOBE UNIVERSITY



国の取り組み

- 1) 教員養成を行う大学等の指導の質の向上
 - 「登録日本語教員養成機関」「登録実践研修機関」の審査
- 2) 日本語学校等の指導の質の向上
 - 「認定日本語教育機関」の審査
- 3) 日本語教員の養成者・研修者の質の向上
 - 各種研修体制の強化（教師、教師教育者、研修指導者）

日本語教師養成・研修推進拠点整備事業

1) 地域における日本語教育の方向性を共有

2) 地域の関連機関が参画するネットワークを構築

3) 日本語教師養成や研修の担い手の研修の実施や好事例の共有

4) 日本語教師養成・研修を担う高度人材の育成

6つの地域に、8つの拠点

- 北海道・東北：東北大学
- 関東・甲信越：筑波大学／東京外国語大学
- 中部：金沢大学／南山大学
- 近畿：神戸大学
- 中国・四国：広島大学
- 九州・沖縄：福岡女子大学

近畿拠点の1年間

- 近畿は1年遅れて2024年度よりスタート。

主な活動記録

2025/03/22	公開	第1回シンポジウム開催を開催します(@大阪ヒルトンプラザウェスト会議室)
2025/02/10	公開	文部科学省主催拠点事業合同発表会に出席します(@文部科学省)
2024/12/22	公開	第2回公開研修会を開催しました(@大阪ヒルトンプラザウェスト会議室)
2024/12/22	内部	第3回合同部会および各部会を開催しました(@大阪ヒルトンプラザウェスト会議室)
2024/09/08	公開	第1回公開研修会を開催しました(@大阪ヒルトンプラザウェスト会議室)
2024/09/08	内部	第2回合同部会および各部会を開催しました(@大阪ヒルトンプラザウェスト会議室)
2024/05/11	内部	第1回合同部会および各部会を開催しました(@大阪ヒルトンプラザウェスト会議室)
2024/03/22	内部	拠点事業準備会議を開催しました(@オンライン)
2024/03/15	内部	本拠点事業案の採択が決定しました

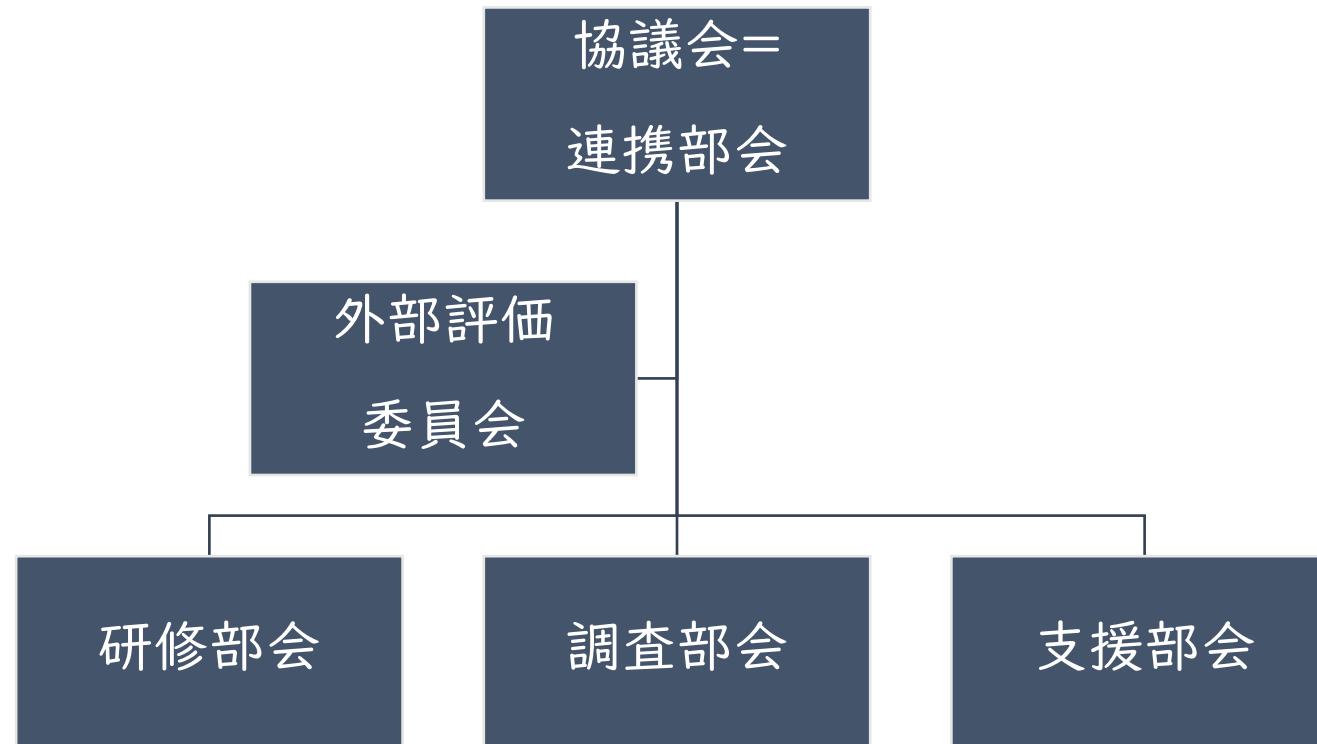
構成機関（全30機関）

下線は2025年度より正式参画

- 大学（17機関）：追手門学院大学、大阪大学、大阪大谷大学、大阪教育大学、関西大学、京都教育大学、京都産業大学、京都精華大学、甲南大学、神戸大学、神戸女学院大学、滋賀大学、摂南大学、天理大学、武庫川女子大学、立命館大学、和歌山大学
- 日本語学校等（5機関）：大阪YWCA、コミュニカ学院、エイム奈良国際アカデミー、京都民際日本語学校、南大阪国際語学学校
- 行政系機関（5機関）：国際交流基金関西国際センター、大阪府国際交流財団、京都府国際センター、兵庫県国際交流協会、神戸国際コミュニティセンター
- 連携機関（3機関：所属教員が個人単位で専門部会に参画）大阪樟蔭女子大学、京都女子大学、奈良教育大学

近畿拠点の構成

- 協議会を「連携部会」として部会化し、4部会で事業を進行する



連携部会の仕事（全28名）

- 事業の全体企画と進捗管理、近畿における関連機関の連携強化策の検討、共同事業の企画、協議会（シンポジウム）の企画・実施、広報、評価ほかを担当。
- 1) 全体企画：年間3回の部会（合同部会・各部会）、2回の公開研修会、1回の公開シンポジウムを企画・実施。
- 2) 連携基盤構築：採用情報等の共有ができるよう、近畿日本語教育情報交換メーリングリストを立ち上げて2024年6月より運用開始
- 3) 大学ヒアリング（3校）、日本語学校ヒアリング（2校）
- 4) 連携の成果：部会構成員による部会参画団体での講演・指導、部会構成機関同士の連携協定締結（例：神戸大学とJF関西国際センター）、部会メンバー指導学生の参画日本語学校見学・常勤教員採用など
- 5) 広報・評価：ウェブサイトの運用。部会議事録もすべて公開し、透明性ある運営を目指す



研修部会の仕事（全17名）

- 近畿における日本語教師教育者養成研修にかかるニーズ調査と研修の企画・試行ほかを担当。
- 1) メンバーによる研修ニーズや課題の共有と整理
- 2) 日本語学校における教師教育者研修の実態ヒアリング
- 3) ニーズに即した研修モデルの検討
- 4) 第1回・第2回の公開研修会を実施（ICT教材活用／地域日本語教育）



調査部会の仕事（全10名）

- 近畿における日本語教育の実態調査と改善提言の検討ほかを担当。
- 1) メンバーに対するアンケート（調査対象の決定）
▣ 国家資格としての教員、学習支援者としての「教員」の両方を調査対象に
- 2) 調査項目の討議・決定
- 3) 2025年夏までに第1回の「実態調査アンケート」を実施。結果を報告。



支援部会の仕事（全14名）

- 近畿における外国ルーツの児童・生徒に対する日本語支援の実態調査と改革提言の検討ほかを担当。
- 1) 個人実践者による実践を重視
- 2) 支援体制・活動等に関する地域間の情報共有、関係機関・研究機関・支援者間の連携構築と強化、支援者の養成・指導法の研究、の3本柱で事業を行う
- 3) 第2回公開研修会（テーマ：地域日本語教育）を企画。メンバーが講師として登壇



地域教員への研修機会の提供

1



演題: ワークショップ: JF「みなと」の教師向け
教育者研修のありかたを考える

概要: 「JF にほんご e ラーニング みなと」上のさ
コースを紹介するとともに、同コースを活用すること
研修が可能か(反転的な研修など)を事例的に体
た、教師教育者研修企画のためのグループワーク
行います。事前課題として特定のコース受講(例:「
をしていただき、それを前提として簡単にポイントを
ーニング活用の意見交換をするなどの教師研修体
関心のあるテーマのコースを組み合わせたりするこ
向けの研修のアイデア出しを行うワークショップ形式を予定しています。▶「

2



13:05-13:25

第1 講演「地域における日本語学習支援の体制づくりに向けた京都府国際センターの取り組み」

講師: 近藤徳明氏(京都府国際センター)

13:25-13:45

第2講演「兵庫県における地域日本語教育の状況と兵庫県国際交流協会の取組について」

講師: 篠原典子氏(兵庫県国際交流協会)

13:45-14:30

第3講演「地域日本語教育に大学がどう関わるか:実践を通して考える」

講師: 松本理美氏(大阪樟蔭女子大学)

3

第1回公開シンポ(2025/3/22(土) JR大阪駅前ヒルトンプラザウェスト会議室)

- ✓ 37名の地域の大学生・院生による日本語教育の学びの成果発表会
- ✓ 日本語学校の現役教員7名による「日本語教師本音トーク」と学生との意見交換会
- ✓ 養成課程・実践研修機関に指定された3校による報告
- ✓ 文科省担当者による講演
- ✓ 真嶋潤子先生による基調講演「日本語教育の参照枠」の目指すもの再考」

地域関係者の意思疎通の強化

近畿日本語教育ML kinki_nihongo_info

AWA	【3/22（土）大阪】文科省日本語教育拠点シンポ（近畿）一	2月6日	☆
i@g...	「連携のための日本語教育実習研究会」（キャリア編）開催	1月25日	☆
shi... 2	ボランティア協力者・見学者募集（南大阪国際語学学校）...	1月17日	☆
2	ハウディ日本語学校からの求人情報 - 文部科学省日本語教...	1月15日	☆
AWA	2/1 学習者コーパスシンポジウム@立川（申し込み受付中）	1月15日	☆
Shi... 2	ご挨拶と求人情報（アジア国際日本語学校・松本） - 松本...	2024/12/31	☆
i IS... 2	ホツマインターナショナルスクール大阪校からの求人情報で	2024/12/26	☆
AWA	関東ブロックからのご案内です（代理投稿：石川） - 日本...	2024/12/20	☆
i@g...	「連携のための日本語教育実習研究会」（地域編）開催のお	2024/12/19	☆
県	「日本語教育実践セミナー」参加者募集 - 拠点事業（近畿...	2024/11/27	☆
h@g...	【12月6日必着】甲南大学国際交流センター非常勤講師公募	2024/11/22	☆
	兵庫県国際交流協会「日本語教師のためのチャレンジ！地域	2024/11/22	☆

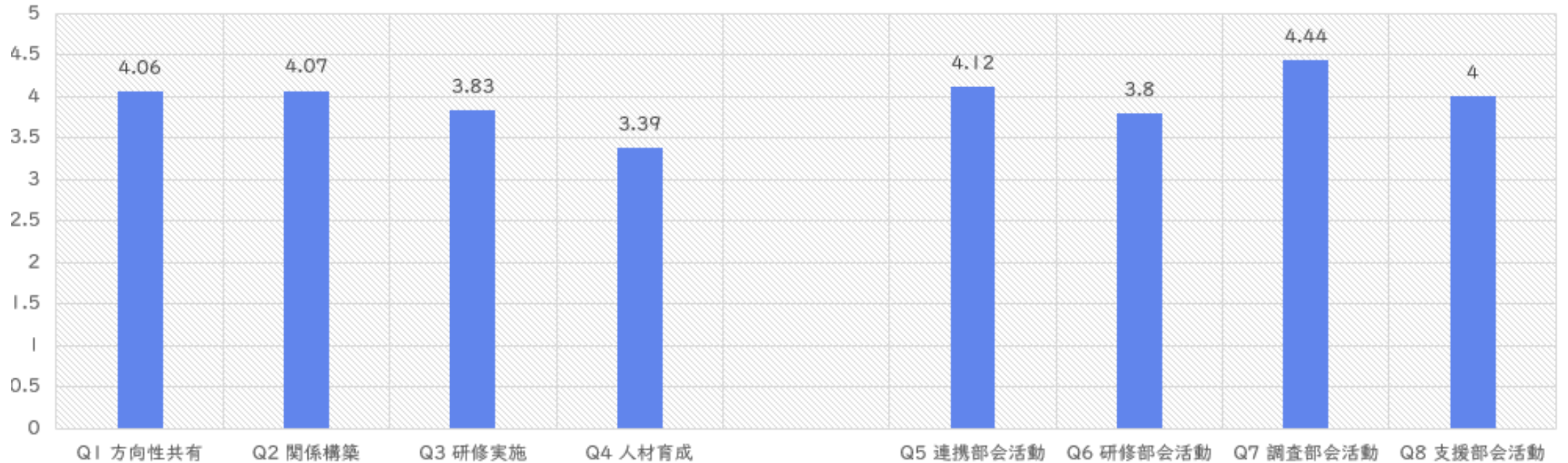
AWA	【12/23締め切り】JF関西国際センターで教員募集がありま	2024/11/20	☆
AWA	12/22（日）：地域日本語教育にかかる公開研修会（於：大	2024/11/09	☆
ku	【大阪YWCA】大阪YWCA日本語教師会、会員募集 - みな...	2024/11/02	☆
AWA	日本語パートナーズ関係の申請のご案内（代理投稿：石川）	2024/10/19	☆
i IS... 2	求人情報：神戸電子専門学校日本語学科 - 杉本先生お世話...	2024/10/08	☆
AWA	中国語話者のための日本語教育研究会 第56回研究会@広州	2024/09/09	☆
県	【10/13（日）】子どもの日本語教育研究会2024 研究会・京	2024/09/08	☆
mail...	コミュニケーション学院事務職員募集 - 皆様 お世話になっておりま...	2024/08/30	☆
県	日本語教育アシスタント実習プロジェクト参加者募集 - 皆...	2024/08/30	☆
AWA	【9/8@大阪】JF「みなと」教え方研修会のおしらせ（★8/1	2024/07/31	☆
n... 3	【奥田純子基金】活動のご報告と第2回「ゆめ作文」募集開始	2024/07/18	☆
AWA	【関東ブロックより告知依頼 2件】7/20 offline/ 8/2 online ...	2024/07/09	☆
i@g...	「連携のための日本語教育実習研究会」第5回のお知らせ ...	2024/07/08	☆

連携の強化に向けて

- 1) 64名(毎回ほぼ皆勤)が年間4回、数時間の膝詰め討議に参画
 - 2) 各部会で多様なヒアリングを実施(大学・日本語学校・行政系)
 - 3) 機関種を超えた問題意識の共有と連携マインドの醸成
 - 4) 「どうせ教師採用はないし・・・」都市伝説からの脱却
 - 5) 機関間公式協定調印、学生の学校見学・教師採用などの成果も
-
- 近畿拠点の理念(と発表者が勝手に考えていること)
 - 「『明るく・楽しく・分け隔てなく』—おもろくなければ教育ちゃうし—」

2024年度活動の自己評価

2024年度目標達成度(内部評価)



1年間で、「養成・研修を担う高度人材育成」はできたか？

○(課題となったこと)

(どのような知識・経験を有していたら「高度人材」と言えるのかがよく分からず、どのような課題が残されているのかが見通せません)／「育成を図る」の具体化とかででしょうか／「日本語教育の参照枠」についての研修もあるとよいと考えます。／「日本語教師養成・研修を担う高度人材」というのがどういふものなのか明確になっていない。／3月のシンポジウム以降、研修を担う高度人材の育成がさらに図られることを期待しております。／ここは回答できません。すみません。／この取り組みは本事業の最終ゴールの一つであると思います。このゴールを目指して次年度も取り組んでいく必要があると思います。／この目的にフォーカスした何か活動があってもいい／これも事業目的3と同様ですが、人材育成にはより長い時間が必要だと考えます。／すみません。まだ参加して間もなく、よくわからないというのが本音です。／ほかの目的に比べるとまだあまり意見交換ができていない領域であるように思うので、次年度以降はこちらについても意識的に意見交換していきたいと思いました。／もう少し色々な大学の事例をお聞きしたい／より多くの人に参加できる、日本語教師養成・研修を担う高度人材の育成の場が必要だと感じています。／わからない。／解決策の検討／教師養成や研修を担う高度人材育成のための研修については、次年度以降取り組んでいく課題であると思う。／近畿圏の教師養成・研修をリードしていく高度人材の育成について、具体的にどのように推進していくかの中長期的な計画には至らなかった。／具体策の提案、提起などが次年度の課題であると思う。／具体的な協力体制の構築／具体的な動きを期待したい／具体的な養成や育成の内容を共有する。／継続していければ良いと思います。／結局のところ、文科省の認可を得るためにどうすればいいか、といったことに関心が向きがちだったのではないかと。／研修のあり方は、対象者が多様で取り組みが難しいと思いました。／高度人材の育成はまだこれからだと思う。／高度人材を育成するという目的を達成するための具体的な行動や、必要な課題まで共有することがあまりできなかったと思う。／今後も分野ごと、それぞれの状況を更に共有する必要があると思います。そうすることで、全体像を俯瞰でき、自分たちの守備範囲というか、やるべき人材育成が更にはっきりするのではないかと。／今年度の成果を今後も継続していくことが最大の課題だと思う。／事業目的3と重なりますが、体系的なものがあると、この拠点事業内だけでなく、今後別の場所でも利用可能なものとなると思います。／事例発表と情報共有を踏まえて、提言などに結び付けられるとよいと思いました。／実際に育成を図るところまではいっていない。／上記のシンポのような機会が今後増えると大変ありがたく思います。／上記回答と同じです。／人材育成の方法もさることながら、まずどのような人材を求めているのかと言うことが微妙にズレているのではないかと。／人材育成を図ることについては、さらなる調査が必要になる／他の部署での様子、結果等がもう少しわかればより良いかと思えます。／他部会の情報(例えば、登録日本語教員の養成・実践研修機関での教育(実習)内容について等)についても詳しく知りたいです。／多様な人材の育成が必要であることを共通認識として進めていけばよいと思う。／大学、日本語学校、公的機関の連携を模索すべきか／登録日本語教員制度がスタートしたばかりであるため、どのへんを重点的に行えばよいか、まだ見えていない部分も多いと感じられること／同上／特なし／特にありません。／特にごさいません／特になし／特になし／特になし／特になし／日本語教育の世界にどのように興味を持ってもらうのか、日本語教員をどのように育成していくのか、検討していければと思います。／日本語教師教育者の養成の面では、まだ何をすべきか(方法)が見えてこないで、海外の言語教師教育者の事例などから考えられるといいかと思えます。／目標があいまいなので、なかなか課題の特定はむづかしい／連携を生かした具体的な発展課題への取組み／話し合いは行われましたが、具体的な方向性が見えていないこと。次年度以降に期待

- 事業のおかげで、近畿において、まず1歩を踏み出すことができた。
- 「場」が設けられたこと自体が初年度の最大の成果。
- 具体化はまさにこれから。
- 「養成・研修を担う高度人材」のイメージの明確化から。
- 「良き教師教育者」とは？
- 教師・研究者・実践者のあいまいな境界
- 何を、どこまで、いつまでに。。。。